研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 6 年 6 月 2 7 日現在

機関番号: 12601 研究種目: 基盤研究(S) 研究期間: 2019~2023

課題番号: 19H05660

研究課題名(和文)翻訳規範とコンピテンスの可操作化を通した翻訳プロセス・モデルと統合環境の構築

研究課題名(英文) Developing a translation process model and constructing an integrated translation environment through detailed descriptions of translation norms and competences

研究代表者

影浦 峡 (Kageura, Kyo)

東京大学・大学院教育学研究科(教育学部)・教授

研究者番号:00211152

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 136.700.000円

研究成果の概要(和文):(1) 翻訳プロセスに翻訳規範とコンピテンスの要素を対応づけた翻訳プロセスモデルを構築した。そのために必要なメタ言語を、プロジェクト、起点言語文書属性、起点言語文書要素、方略、効果、イシュー、主観評価表現、コンピテンス、差異記述に関して構築し、公開した。 (2) モデルを組み込んだ統合翻訳環境を構築し公開した。翻訳プロセスを考慮した翻訳・機械翻訳および関連技

術の自動化手法(評価を含む)を開発し、メタ言語とともに実証評価を行うとともに必要な要素を統合翻訳環境 に組み込んだ

(3) メタ言語、起点言語文書評価システム、基礎翻訳データ各種を公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義
翻訳プロセスと翻訳に必要なコンピテンスを高い解像度で記述することにより、ニューラル機械翻訳(NMT)や
大規模言語モデル(LLM)の発展をめぐって印象論的なかたちでなされがちな、翻訳とはどのようなものか、NMT
は人間の翻訳に取って代わるかといった問いを科学的に検討する共通の手段を示したことは社会的に大きな意義
を有する。これらの解明を通して、翻訳教育の新たな枠組みを提案し有効性を示したことは教育応用の先端を拓
く。また、NNMTのさらなる展開とNMTと人間の協調関係を踏まえた評価技術のメタ評価、関連技術の開発とシス テム公開は、技術そのものの学術的意義に加えて今後の方向性を示した点で極めて重要である。

研究成果の概要(英文): (1) A translation process model was constructed, in which elements of translation processes and the criteria for translation were linked. In doing so, we developted a set of metalanguage systems that cover translation project, source document attributes, source document elements, translation strategies, translation issues, subjective evaluation expressions, translation competences, and differences in translations. The metalanguage systems were empirically tested through translation experiment.

(2) We developed and made open MNH-TT, an integrated translation training platform. We developed MT

and related automatic processing and evaluation modules that take into account human translation processes. Some of them were incorporated into MNH-TT, together with metalanguage systems.

(3) The metalanguage systems, the system that evaluate documents for translation purposes, MNH-TT

and a series of translation data were made publicly available.

研究分野:専門語彙論・翻訳論・言語処理

キーワード: 翻訳プロセス・モデル 翻訳規範 翻訳コンピテンス メタ言語 翻訳テクノロジー 機械翻訳 翻訳 教育

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

(a) 翻訳論の領域では、翻訳規範とコンピテンスの理論的知見が蓄積されてきているが、翻訳実務でも翻訳教育でもあまり活用されていない。(b) 世界的に大学院レベルの翻訳者教育コースは増えておりカリキュラムの体系化も進んでいるが、具体的な教育の手続きと質は個々の教員に依存しがちであり、翻訳者養成需要の増大に十分に応えられているとは言えない。(c) 翻訳産業の拡大と実務プロセスの多様化の中で、翻訳品質管理およびクライアント・翻訳サービス・翻訳者間の翻訳プロセスと翻訳品質に関する理解の齟齬は翻訳産業における深刻な問題となっている。(d) ニューラル MT (NMT) による目標言語文の流暢さの大幅な向上、言語・文書処理技術の成熟といった技術的な進歩に対して、それらが実務翻訳の中でどのように位置づけられるのかについては、共通の理解も確立した実践のモデルもない。

翻訳を巡っては、関連する各領域で知見が蓄積され技術も進歩しているにもかかわらず、それらが十分に共有できていないため、翻訳実践を総体としてみると十分な進展を見せていないだけでなく、深刻な問題を引き起こす可能性もある。品質水準への無理解から拙速に MT 利用を進めることで、生命を危険に晒したり訴訟を引き起こす恐れがあるし、技術単体の評価で相対的に優れているものを翻訳プロセスに組み込むことで全体の効率や品質が落ちる可能性もある。翻訳者養成における共通の質保証の不在から実務が要請するコンピテンスや品質とのミスマッチが生まれると、翻訳者の専門性に対する否定的な評価に繋がる恐れがある。このような状況は、そもそも、関与するアクターの翻訳に対する理解が範囲も度合いも限定的であり、「翻訳とは何か」についての共有理解が成立していないことからくる。そして、共有理解が成立していないことの大きな要因は、翻訳のプロセスと規範・コンピテンスが、共有可能な外在的操作として十分に具体的なかたちで記述されてこなかったことにある。そこで、翻訳プロセスと規範・コンピテンスを高解像度で記述的に明確化することが理論的にも教育・実務上でも、また技術の適切な活用のためにも急務である。

2.研究の目的

この背景を踏まえ、本研究の核心をなす問いを以下のように立てた。

- 翻訳プロセスをめぐる問い:実務翻訳における翻訳プロセスは、どのようなアクターのどのような行為とどのようなアイテムに対するどのような操作から成り立っているのか?
- 翻訳規範とコンピテンスをめぐる問い:翻訳プロセスを構成する行為と操作の要素は、翻訳のどのような規範および/あるいはコンピテンスと関係しているか?

本研究の第一の目的は、これらの問いに回答を与え、

(1) 翻訳プロセスに翻訳規範とコンピテンスの要素を対応づけた詳細な翻訳プロセス・モデルを構築する

ことにある。

翻訳プロセス・モデルの記述は基本的に相互に関連する、翻訳プロセスに関与するアクターの行為とアイテムに対する操作と、翻訳プロセスに関与するアクター間のコミュニケーション、という二つのレベルで行う。いずれのレベルでも、モデルの記述を担うとともに、実務・教育・技術開発のための問題定義に用いることができるメタ言語の構築を行う。また、翻訳プロセスを構成する行為・操作のうち、自動化技術開発の対象となるものを同定し、それらに対する処理メカニズムを開発・実装する。

この翻訳プロセス・モデルは、規範的なプロセスを外から記述するモデルとしてだけではなく、それに従って翻訳者養成プロセス、翻訳プロセス、技術要素の活用を展開可能な、運用・行動・評価の指針として機能するものである。また、プロセスに組み込んだ規範の有効性は、最終的には翻訳品質の基準に照らして評価される必要がある。これらの点を考慮し、本研究の第二の目的として、

(2) モデルを組み込んだ統合的翻訳環境・翻訳学習環境を構築し、モデルとメタ言語・自動処理 技術の妥当性を、翻訳教育と翻訳実務における有効性の観点から実証評価する ことを設定する。

より具体的な研究フェーズとして、

- (1) 翻訳プロセス・モデルの構築(含規範・コンピテンスとの対応付け、メタ言語の構築)
- (2) 自動化対象操作の同定と技術開発
- (3) 統合的翻訳環境・翻訳学習環境の構築
- (4) モデルの評価

という4フェーズを定義する。

3.研究の方法

上記(1)-(4) にデータ構築と社会展開・デプロイメントについて、以下の方法で進めた。 (1) 翻訳プロセス・モデルの構築 従来研究のレビュー、既往の翻訳規範とコンピテンス体系の 検討と、翻訳実務関係者へのアンケートおよびインタビューを通して行う。メタ言語構築は分 類体系・語彙体系の開発と検証の手続きを踏む。

- (2) 自動化技術の開発·実装 翻訳プロセス・モデルにおいて明確にしたアクターの行為とアイテムに対する操作のうち、自動処理の問題として定義できる領域を同定し、自動化手法を開発する。起点言語文書属性・要素の同定、目標言語要素への変換、NMT を含む技術の自動評価を扱う。属性同定に対しては教師ありを中心とする機械学習を、要素同定に対しては統計的手法を中心に必要な技術開発を行う。
- (3) 統合的翻訳環境·翻訳学習環境の構築 これまで開発してきた Web ベースの「みんなの翻訳」および「みんなの翻訳実習」を出発点とし、ユーザストーリーマッピングを利用し、メタ言語を組み込む。オンラインおよびローカル・インストール可能なパッケージとして翻訳者・翻訳学習者の利用に供する。
- (4) 実証実験と評価・フィードバック 翻訳プロセス・モデルの妥当性を TD の品質も考慮して評価するために、翻訳実証実験を行い、TD の品質を評価した上で、プロセスとプロセス規範の評価を行う。
- (5) データ構築 モデル構築と実証、自動化技術開発のためのデータを構築する。
- (6) 社会展開·デプロイメント 翻訳実務と翻訳教育の現場に、翻訳プロセス・モデルとメタ言語を展開する。翻訳プロセス・モデルを反映しメタ言語を組み込んだ統合翻訳環境を一般利用に向けて公開する。

4. 研究成果

前節の(1)から(6)に加え、当初予見していなかった新たな研究成果を(7)で述べる。

(1) 翻訳プロセス·モデルの構築 産業翻訳サービス国際規格 ISO 17100 の標準産業翻訳プロセスを出発点とし、翻訳プロセス・モデルの基本枠組みを定義した。また、プロセス・モデルの構成要素を翻訳アクトと翻訳データに即して記述するための、以下のメタ言語体系を構築した。

プロジェクト・メタ言語: クライアントとの交渉、使用の決定から始まる巨視的なタスクと ワークフローからなる翻訳プロセスを記述するメタ言語を、ISO 17100 を起点に詳細化した。 ISO 17100 が与える 15 の項目を詳細化した最深 9 階層 180 語からなる語彙体系を構築した。

SD 属性・SD 要素に関するメタ言語:機能主義翻訳理論を中心に、言語学、テクニカルライティング、図書館情報学の知見を参照し、SD 属性 4 階層約 80 語、SD 要素 5 階層約 220 語からなる語彙体系を構築した。

方略に関するメタ言語:起点言語から目標言語への変換操作を構成する下訳・修正・レビューのプロセスを記述するメタ言語として、翻訳論の方略理論を起点に、統語論・意味論・語用論という上位3区分のもとでそれぞれ十数方略からなる合計40の方略言語体系を構築した。

効果に関するメタ言語: 訳文の修正が文書構成とコミュニケーションにおいて有する効果を 記述する語彙として約30語からなる語彙を体系化した。

イシューに関するメタ言語:翻訳の修正を適用する際に、修正対象となるセグメントの診断を与える語彙として以前構築していた約20からなるイシューカテゴリを精緻化した。

主観評価表現:実際の翻訳現場で用いられている主観評価表現を調査し、それらとアイテムの操作とを体系的に結びつけた。翻訳スキルに関する教科書や実用書を中心に約 110 語を定義し、アンケートと聞き取りで頻度と意味を調査し、体系化した。

コンピテンスに関するメタ言語:翻訳中核プロセスのコンピテンスを記述するメタ言語3階層約25項目、調査のコンピテンスを記述するメタ言語約10項目を体系化した。これらは語彙としてではなく、SD属性・要素のメタ言語のいくつかを起点として、それに対する認識・行為・捜査として「・・・できる」という可能言明形式で体系化されたものである。

メタ言語を活用するために特に から については決定木・決定リストのかたちでメタ言語スキームを定義している。これらのメタ言語スキームは、CC BY-SA 4.0 ライセンスのもとで、https://github.com/tntc-project/で一般公開している。また、これらの成果は、代表者・分担者・協力者を中心とした編著書 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (2022)にまとめた。これらにより、本科研の第一の目標である、「翻訳プロセスに翻訳規範とコンピテンスの要素を対応づけた詳細な翻訳プロセス・モデルを構築する」という目的を達成した。

(2) 自動化技術の開発 大枠としては当初予定に従い、大きく三点の研究開発を進めた。

SD の文書属性と文書要素属性の同定タスクは、当初は主に教師あり学習問題としてのアプローチを採っていたが、自動化システムとして仕様を定義した際、本科研の目的の観点からは自動化の目標は与えられた解析課題を解く問題であるよりも翻訳に関与するテキスト属性を評価する問題であることが明確になったため、研究後半では重点を同定ではなく評価に移し、文書、段落、文、語彙のレベルでのテキスト自動評価を行うシステムとして実装した。文書、段落、文、語彙のレベルでのテキスト自動評価を行うシステムとして実装した。現在、QRDP (QR Document Profiler)として運用している。

TD 要素への変換として、独立言語要素の中核である専門用語・専門表現と、NMT の展開としてのテキスト全体の翻訳を扱った。専門用語と専門表現は、翻訳プロセスにおいて、SD での同定と TD への変換が結びついており、また、翻訳時の操作が専門語彙管理と不可分であるため、テキストにおける変換ではなく専門語彙の多言語展開として課題を定義した。個別用語の対訳生成問題としては深層学習による用語対訳に語彙の体系が有する情報を組み込んだ専門語彙の多言語展開システムを開発した。また、単言語文書とシードに基づく専門語彙の対訳ク

ローリング・システムを改善し、日中英における評価を行なった。

テキストの変換に関しては、NMT で分析的に要素を扱う手法と文書を考慮する手法とを展開した。前者については、頻度を手がかりに内容語を機能語と区別し内容語に着目した翻訳を行う content word aware neural machine translation の手法を開発した。人間の翻訳では SD 文書要素に応じて扱いが異なり、いわゆる「言語」の変換に要素毎の操作が加わる。本手法は、非翻訳表現の指定等とともに、言語変換ではなく「翻訳」に向けて NMT を展開する一歩として位置付けられる。また、既存分野の対訳に新分野の単言語データを用いて新たな分野における MT の精度を改善する手法を開発した。人間の翻訳プロセスにおいて前者は再利用に、後者は生成に対応しており、その組合せに光を当てた点は本科研の視点を反映した成果である。

NMT の自動評価に関しては、これまでの MT 評価に関する総合的な検討をまず行ない、方向性を明確にした。それを踏まえ、以下の三つの方向で研究を進めた。第一は、事前編集を体系的に行いそれに対応した NMT の変化を捉えることで、翻訳プロセスの中に人間主導で NMT を組み込むための評価手法を開発した。第二は、参照訳と NMT の出力の類似度を計測する従来法とは異なり、実際の翻訳工程と同様に参照訳に依拠しない自動評価技術の開発である。 NMT の出力の修正事例、および対訳データから生成できる擬似的な修正事例に基づいて、原文と NMT の出力に対する品質を自動的に推定する技術を実現し、人間の評価との一致率について、既存の手法よりも高い性能を達成した。第三は、翻訳結果を分析的に評価するためのスキーム構築とその自動適用である。 NMT の精度向上に対応し、翻訳誤りの分析に留まらず、人間翻訳と NMT のギャップを客観的に説明可能な形で可視化する技術の開発を進めた。 NMT の評価に関する研究では、成果の一つが言語処理分野のトップ会議である ACL-IJCNLP でOutstanding Paper Award を、もう一つが評価を扱う国際ワークショップで Best Overall Approach Award を受賞している。

- (3) 統合的翻訳環境・翻訳学習環境の構築 研究期間の前半で、翻訳プロセス・モデルの構築と重ね合わせるかたちでユーザストーリーマップを構築・改善し、それに基づいて統合的環境の開発を進めた。プロジェクトを中心とした実務翻訳プロセスのモデルに、教育プロセスを反映したクラスルーム・レイヤーを加え、実務翻訳ではクライアントと翻訳企業の関係として扱われる部分を、教育プロセスではクラスルーム・レイヤーにおける課題として位置付けた。期間後半では、授業での実利用を含む検証を通して、ユーザストーリマップに沿ったメタ言語の組込み、統計情報可視化の改善を行った。システムはオンライン(http://mnh-tt.org/)で公開している他、パッケージ化している。本環境の構築と公開により、本科研の第二の目標の前半「モデルを組み込んだ統合的翻訳環境・翻訳学習環境を構築する」を達成した。
- (4) 実証実験と評価・フィードバック 翻訳プロセス・モデルとメタ言語の有効性に関する実証実験 は、個別の実験形式とワークショップ形式の双方で実施した。前者は以下の通りである。

イシューメタ言語を用いた修正プロセスの実証実験:2019 年 10 月~2020 年 2 月に実施。 延べ132 文書(33名×4文書)

SD 属性メタ言語を用いた翻訳プロセスの実証実験: 2020 年 10 月~2020 年 12 月に実施。 延べ 132 文書 (44 名×3 文書)

方略メタ言語の学習可能性と効果に関する実証実験: 2021 年 4 月 \sim 2020 年 6 月に実施。延べ 306 文書 (51 名×6 文書)

SD 要素メタ言語を用いた翻訳プロセスの実証実験: 2022 年 8 月 \sim 2023 年 3 月に実施。述べ 30 文書 (15 名×2 文書)

方略メタ言語を用いた修正プロセスの実証実験:2023 年 12 月~2024 年 3 月に実施。延べ32 文書 (16 名×2 文書)

から の実証実験では、TD 品質評価にイシューメタ言語を用いている。

ワークショップ形式の実証実験は、以下の通りである。

SD 属性・要素メタ言語の授業適用可能性と効果に関するワークショップ:北京外国語大学ワークショップ型授業として 2023 年 12 月 13 日に実施。延べ 46 文書 (23 名×2 文書)

メタ言語全体の授業適用可能性と効果に関するワークショップ:北京大学ワークショップ型 授業として 2024 年 3 月 11 日に実施。延べ 16 文書 (8 名×2 文書)

これらを通して、メタ言語の使用可能性に加え、特に授業における翻訳プロセス・モデルおよびメタ言語の適用可能性と質的貢献を明らかにした。以上を通して、本研究の第二の目標の後半、すなわち「モデルとメタ言語・自動処理技術の妥当性を、翻訳教育と翻訳実務における有効性の観点から実証評価する」を達成した。

(5) データ構築 メタ言語の構築と検証・評価、自動化技術の開発、実証実験の参照のために基盤となるデータを開発した。主なものを公開状況とともに述べる。

分析用基礎 SD セット:産業翻訳で扱われる主な分野・文書タイプのパブリックドメイン英語文書 500 件 (約50 万ワード)を収集し、うち46 文書に対してプロによる翻訳と機械翻訳事後編集 (MTPE)の訳を付与したデータを MultiEnJa として公開している (https://github.com/tntc-project/MultiEnJa)。

2 段階事後編集データ: ニュース記事 97 文書 (1018 文) を対象に、MT 訳、X 文 Y 訳としての修正訳、翻訳として適切な修正訳からなるデータを構築し Staged PE Dataset として公開している (https://github.com/akfujita/staged-PE/)。

複数翻訳コーパス: PubMed に掲載されている Nature Communications の論文 211 本

(2014 年から 2017 年) について、表題と抄録を日本語に翻訳したコーパスを構築した。148本については3種類の日本語翻訳を、63本については1つの日本語翻訳が付与されている。データは ParaNatCom として公開されており(https://www2.nict.go.jp/astrecatt/member/mutiyama/paranatcom/index.html)、2020年と2021年のWorkshop on Asian Translationでは、本コーパスを利用した翻訳シェアド・タスクが実施された。

文書構造データ:特に文書構造・文書要素タグ付きデータとして、GitHub 上のソフトウェア技術関連文書 47 件 (26 ソフトウェア) の対訳データを作成した。

(6) 社会展開とデプロイメント 前半は関連学協会でのコミュニティ構築を、後半は成果公開に関連するシンポジウム等を重視した。

前半では言語処理学会でのテーマセッション(2020 年~2022 年)、日本翻訳者連盟、Translation Automation User Society (TAUS)等での紹介を行なった。中盤以降の翻訳実務への展開は当初予定よりも直接的にクライアントと関わるかたちで展開した。具体的には、起点言語文書要素のうち特に用語の管理に関して、名古屋市との連携のもとで自治体用語集の構築に参加し、公開した(https://github.com/tr4lg/nagoya-dataset/; https://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000162160.html)。また、「令和 6 年度能登半島地震支援情報ナビ(https://aidfor.noto-peninsula-earthquake2024.supportnavi.jp/)の多言語化協力で本科研の成果を生かしている。国際的な展開としては、世界知的所有権機関(World Intellectual Property Organisation: WIPO)の翻訳・ターミノロジー・翻訳技術フェローシップの日本向け紹介オンライン・セッションを主催し(2024年3月7日)、本科研で得られた翻訳プロセス・モデルの知見の枠組みを用いつつフェローシップの仲介を行った。

翻訳教育への展開は、データ等を研究に明示的に還元することを踏まえ倫理審査を経て行な ったものと、研究参加者が担当している授業に自然に組み込んだものとがある。後者について は、東京大学(2020年度から2023年度の各前期)と近畿大学(2023年度前期・後期)におけ る翻訳論の授業に本科研の成果が反映されている。前者については、北京外国語大学(2023年 12 月 13 日・参加者 23 名、2 文書・北京外国語大学協力教員董海濤先生)および北京大学 (2024年3月11日・参加者8名、2文書(ビデオ対談)・北京大学協力教員張晶先生)で、メ 夕言語を活用する翻訳・通訳教育に関する実践授業型ワークショップを開催した。これらワー クショップは東京大学の倫理審査を経ており、結果を分析して研究成果として公表予定である。 社会還元の一環として、以下のシンポジウム・講演会を主催した。(1)早川威士氏(株式会社 アスカコーポレーション)「翻訳産業の現場におけるMT品質の見極め方」(2019年10月28日) (2) Pan Jun 博士 (Hong Kong Baptist University 准教授) "What can learner corpora teach us? Insights obtained from translation and interpreting trainees in Hong Kong" (2022 年 11 月 22 日) (3) Pan Jun 博士 (Hong Kong Baptist University 准教授) 「生成 AI 登場後の 翻訳・通訳と翻訳・通訳教育」(2023年5月25日)、(4)高橋さきの氏(翻訳者) 「NMT/ChatGPT が社会で広まる時代の翻訳」(2023 年 7 月 31 日) (5) 馬小兵博士(北京大 学教授)「日中通訳・翻訳人材の養成と通訳・翻訳研究」(2024年1月19日)。30人から150 人の参加があり、研究成果の社会還元とコミュニティ構築に資した。

(7) 当初予見していなかった成果 以下の三点が挙げられる。

研究の途上で、同一 SD に対する複数の妥当な翻訳の差異の記述的明確化自体が評価の前に求められること、それを記述するメタ言語系が存在しないことが明らかになったことを受けて、差異を記述するメタ言語の構築を進めた。これにより、プロセスが生み出す差異を TD のイシューを中心とする観点からだけではなく、複数の適訳をめぐる問題として具体的に捉えることが可能となった。

専門用語の変換技術の開発を通して、従来の自動専門用語対訳抽出ではなく、語彙としての 多言語ターミノロジーを構築管理する必要性と、その作業に伴う専門性の明確化が課題として 明らかになったことである。本科研ではテキスト・コーパスからの対訳抽出に既往専門語彙の 概念的位置に関する情報を入れることで精度改善を測るとともに、シードを使った対訳クローリング手法を開発・検証していたが、視点を入れ替え、専門用語の変換技術としてではなく多言語専門語彙の改訂増補技術として問題を定義するのが適切であることが明らかとなった。

翻訳プロセスモデルとメタ言語の効果の実証実験課題から、翻訳授業設計論に研究を展開した。メタ言語自体の効果を検証する場合、使用の有無を無作為に実験協力者に割り当てることが一般的な枠組みであるが、特に翻訳教育を考えた場合、メタ言語の修得そのものが翻訳者コンピテンスの一部であることを考えると、メタ言語を使わないことに対する使ったことの効果を計測することは研究上必須であっても、翻訳教育の実践とは直接つながらない。そこで、メタ言語をどのように翻訳教育に組み込むかという授業設計論への展開が、メタ言語の教育利用を促すために必須であることが明らかになった。研究後半で行ったワークショップ形式授業では、メタ言語の有効性を、それを組込んだ翻訳授業設計論の視点からも検討した。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計51件(うち査読付論文 31件/うち国際共著 15件/うちオープンアクセス 29件)

〔雑誌論文〕 計51件(うち査読付論文 31件/うち国際共著 15件/うちオーブンアクセス 29件)
1.著者名	4 . 巻
山本 真佑花、藤田 篤、影浦 峡	23
2 . 論文標題	5.発行年
·····	_
メタ言語としての英日翻訳方略体系の洗練 - 実事例と複数人の合議に基づいて -	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
通訳翻訳研究	15 ~ 35
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.50837/its.2302	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- -
1.著者名	4 . 巻
本田 友乃、藤田 篤、山本 真佑花、影浦 峡	23
2 . 論文標題	5.発行年
異なる翻訳間の差異を記述するためのスキーム - 体系の洗練とメタ言語としての評価 -	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
通訳翻訳研究	83 ~ 103
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.50837/its.2305	有
オープンアクセス	 国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4.巻
影浦峡	79
2.論文標題	5.発行年
人間の翻訳と機械の翻訳(8):翻訳者がしていること・MTにできること	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
AAMT Journal	22-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	四啄六旬
. ****	
1 . 著者名	4 . 巻
影浦峡	78
2 . 論文標題	5.発行年
人間の翻訳と機械の翻訳(7):社会的な受容の一側面	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
AAMT Journal	14-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
-	7.11
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

なし 無		
小野・影海峡 47 2 高文格器 配介した。できること。の参転に向けて 名・選邦 日本	1.著者名	4 . 巻
2. 前文標題 翻訳はコンピテンスの通報を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー: "わかること』 を介した "できること』を移転に向けて 3. 創証名 生涯学習基礎経営研究		
	11.20 10.1000	
	2	F 38/-/-
を介した「できること。の移転に向けて 3 ・ 制設名 4 東京智基機能資研究 「 1・17 「 1・	·····	
3. 報話名 生涯学習基盤経営研究 6. 最初と最後の頁 1.17 規数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 富誘の有無 4 オープンアクセス 本田次万、山本真佑花、影浦峡 4. 巻 24 2. 論文模題 異なる部が間の差異を記述するためのスキームの構築 5. 発行年 2022年 通路開業が戻への招待 6. 最初と最後の頁 1.21 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 オープンアクセス 1. 著書名 本 小馬、影浦峡 4. 巻 47 2. 論文構題 組訳者コンピテンスの涵積を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー・**のかること。 を介した。*できること。の終戦に向けて・ 3. 機能名 生涯学習基盤経営研究 5. 発行年 2022年 月本記のPOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1. 著書名 影浦峡 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 発行年 2022年 3. 触は名 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 飛行年 2022年 3. 離れ名 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 飛行年 2022年 3. 離れ名 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 飛行年 2022年 3. 離れ名 人間の知识と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 最初と量機の頁 28-33 3. 離れ名 人間の知识と機械の翻訳(6): 翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 最初を量機の頁 28-33 3. 離れ名 人間の可能力と機械の即のに「デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		2023年
3. 報話名 生涯学習基盤経営研究 6. 最初と最後の頁 1.17 規数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 富誘の有無 4 オープンアクセス 本田次万、山本真佑花、影浦峡 4. 巻 24 2. 論文模題 異なる部が間の差異を記述するためのスキームの構築 5. 発行年 2022年 通路開業が戻への招待 6. 最初と最後の頁 1.21 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 オープンアクセス 1. 著書名 本 小馬、影浦峡 4. 巻 47 2. 論文構題 組訳者コンピテンスの涵積を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー・**のかること。 を介した。*できること。の終戦に向けて・ 3. 機能名 生涯学習基盤経営研究 5. 発行年 2022年 月本記のPOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1. 著書名 影浦峡 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 発行年 2022年 3. 触は名 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 飛行年 2022年 3. 離れ名 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 飛行年 2022年 3. 離れ名 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 飛行年 2022年 3. 離れ名 人間の知识と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 最初と量機の頁 28-33 3. 離れ名 人間の知识と機械の翻訳(6): 翻訳中核プロセスの一つの性質 5. 最初を量機の頁 28-33 3. 離れ名 人間の可能力と機械の即のに「デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	を介した『できること』の移転に向けて	
1.17		6 最初と最後の百
指載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) なし	** *** * *	
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難	生涯子省基盤経営研究	1-1/
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難		
1 著名名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 著名名	なし、	有
1 - 著名名	<u> </u>	13
1 - 著名名	オープンマクセフ	国際共革
1 ・著名名 本田友乃、山本真佑花、影浦峡 2 ・ 論文標題 異なる翻訳間の差異を記述するためのスキームの構築 3 ・雑誌名 3 ・雑誌名 なし	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	国际六 有
本田友乃、山本真佑花、影浦峡 2 . 論文標題 異なる翻訳間の差異を記述するためのスキームの構築 3 . 雑誌名 オーブンアクセス 1 . 著名名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	オーノファクセスではない、又はオーノファクセスが困難	-
本田友乃、山本真佑花、影浦峡 2 . 論文標題 異なる翻訳間の差異を記述するためのスキームの構築 3 . 雑誌名 オーブンアクセス 1 . 著名名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
2 . 論文標題 異なる翻訳開の差異を記述するためのスキームの構築	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 異なる翻訳開の差異を記述するためのスキームの構築	本田友乃、山本真佑花、影浦峡	24
異なる翻訳間の差異を記述するためのスキームの構築 2022年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 1-21 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著書名 木 木恵、影浦峡 4 . 巻 47 2 . 論文標題 翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』を介した『できること』の移転に向けて - 3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 6 . 最初と最後の頁 1-17 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 77 1 . 著書名 影浦峡 5 . 発行年 2022年 2 . 論文標題 クラースの開発に関係の翻訳と機械の翻訳(6): 翻訳中核プロセスの一つの性質 28-33 4 . 巻 77 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のD001 (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
異なる翻訳間の差異を記述するためのスキームの構築 2022年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 1-21 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著書名 木 木恵、影浦峡 4 . 巻 47 2 . 論文標題 翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』を介した『できること』の移転に向けて - 3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 6 . 最初と最後の頁 1-17 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 77 1 . 著書名 影浦峡 5 . 発行年 2022年 2 . 論文標題 クラースの開発に関係の翻訳と機械の翻訳(6): 翻訳中核プロセスの一つの性質 28-33 4 . 巻 77 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のD001 (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 经分摊的	5
3 .雑誌名 通訳 通訳		
 通訳翻訳研究への招待 担職論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オーブンアクセス 1.著者名 朴惠、影浦峡 4.巻 47 2.論文標題 部所者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー・『わかること』を介した『できること』の移転に向けて・3.雑誌名 生涯学習基盤総賞研究 1.著者名 お雑誌名 カーブンアクセス 国際共著 オーブンアクセス 1.著者名 湯瀬峡 1.著者名 湯瀬峡 3.雑誌名 4.巻 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 湯浦峡 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 AAMIT Journal 4.巻 3.雑誌名 AAMIT Journal 国際共著 	美なる翻訳间の差異を記述するための人キームの桶染	2022年
 通訳翻訳研究への招待 担職論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オーブンアクセス 1.著者名 朴惠、影浦峡 4.巻 47 2.論文標題 部所者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー・『わかること』を介した『できること』の移転に向けて・3.雑誌名 生涯学習基盤総賞研究 1.著者名 お雑誌名 カーブンアクセス 国際共著 オーブンアクセス 1.著者名 湯瀬峡 1.著者名 湯瀬峡 3.雑誌名 4.巻 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 湯浦峡 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 AAMIT Journal 4.巻 3.雑誌名 AAMIT Journal 国際共著 		
 通訳翻訳研究への招待 担職論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オーブンアクセス 1.著者名 朴惠、影浦峡 4.巻 47 2.論文標題 部所者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー・『わかること』を介した『できること』の移転に向けて・3.雑誌名 生涯学習基盤総賞研究 1.著者名 お雑誌名 カーブンアクセス 国際共著 オーブンアクセス 1.著者名 湯瀬峡 1.著者名 湯瀬峡 3.雑誌名 4.巻 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 湯浦峡 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 4.巻 77 3.雑誌名 AAMIT Journal 4.巻 3.雑誌名 AAMIT Journal 国際共著 	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	** *** * *	
なし 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 朴思,影鴻峽 4 . 巻 47 2 . 論文標題 部別者コンピデンスの滋養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』 を介した『できること』の移転に向けて - 2022年 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 6 . 最初と最後の頁 1-17 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重膝の有無 有 1 . 著者名 影鴻峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	(201年) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M	1 21
なし 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 朴思,影鴻峽 4 . 巻 47 2 . 論文標題 部別者コンピデンスの滋養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』 を介した『できること』の移転に向けて - 2022年 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 6 . 最初と最後の頁 1-17 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重膝の有無 有 1 . 著者名 影鴻峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著		
なし 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 朴思,影鴻峽 4 . 巻 47 2 . 論文標題 部別者コンピデンスの滋養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』 を介した『できること』の移転に向けて - 2022年 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 6 . 最初と最後の頁 1-17 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重膝の有無 有 1 . 著者名 影鴻峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	相乗込みの001/マッカルナマッ カー神印フン	本共の大畑
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 茶書名		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 朴惠、影浦峡 2. 論文標題 翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー・『わかること』 を介した『できること』の移転に向けて・ 3. 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 4. 巻 2. 論文標題 有 オープンアクセス オープンアクセス 1. 著者名 影浦峡 2. 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3. 雑誌名 AAMT Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 金読の有無 なし カープンアクセス 1. 翻訳標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3. 雑誌名 AAMT Journal 「表現の有無 なし カーブンアクセス 国際共著 2022年 6. 最初と最後の頁 28-33	なし	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 朴惠、影浦峡 2. 論文標題 翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー・『わかること』 を介した『できること』の移転に向けて・ 3. 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 4. 巻 2. 論文標題 有 オープンアクセス オープンアクセス 1. 著者名 影浦峡 2. 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3. 雑誌名 AAMT Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 金読の有無 なし カープンアクセス 1. 翻訳標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3. 雑誌名 AAMT Journal 「表現の有無 なし カーブンアクセス 国際共著 2022年 6. 最初と最後の頁 28-33		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 朴惠、影浦峡 2. 論文標題 翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー・『わかること』 を介した『できること』の移転に向けて・ 3. 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 4. 巻 2. 論文標題 有 オープンアクセス オープンアクセス 1. 著者名 影浦峡 2. 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3. 雑誌名 AAMT Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 金読の有無 なし カープンアクセス 1. 翻訳標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3. 雑誌名 AAMT Journal 「表現の有無 なし カーブンアクセス 国際共著 2022年 6. 最初と最後の頁 28-33	オープンアクセス <u></u>	国際共著
1. 著書名 4.巻 ** 計画、影浦峡 4.巻 2. 論文標題 翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー・『わかること』 を介した『できること』の移転に向けて・3. 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 6.最初と最後の頁 1.17 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著 1. 著書名 影浦峡 4.巻 77 2. 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5.発行年 2022年 3. 雑誌名 AAMIT Journal 6.最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	· · · · · = · ·	
小恵, 影浦峡 47 2. 論文標題 翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』 を介した『できること』の移転に向けで - 3 ・ 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 6 . 最初と最後の頁 1-17 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 直読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 77 1. 著者名 影浦峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	7 7777 2720 2010 (& 2. (20) 1. (200)	
小恵, 影浦峡 47 2. 論文標題 翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』 を介した『できること』の移転に向けで - 3 ・ 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 6 . 最初と最後の頁 1-17 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 直読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 77 1. 著者名 影浦峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	4 *************************************	4 Y
2 . 論文標題 翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』 を介した『できること』の移転に向けて - 』 6 . 最初と最後の頁 1-17 3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究 6 . 最初と最後の頁 1-17 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス としている(また、その予定である) 国際共著 77 1 . 著書名 影浦峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	—	
翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』 2022年 を介した『できること』の移転に向けて - 3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究	朴惠,影浦峡	47
翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』 2022年 を介した『できること』の移転に向けて - 3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究		
翻訳者コンピテンスの涵養を目的とする翻訳教育カリキュラムの開発に向けたレビュー - 『わかること』 2022年 を介した『できること』の移転に向けて - 3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究	2 . 論文標題	5.発行年
を介した『できること』の移転に向けて・ 3.雑誌名 生涯学習基盤経営研究	·····	
3 . 雑誌名 生涯学習基盤経営研究		2022-
生涯学習基盤経営研究 1-17 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1.著者名影浦峡 4.巻 77 2.論文標題人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5.発行年 2022年 3.雑誌名AAMT Journal 6.最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	** *** * *	6.最初と最後の負
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 影浦峡 4.巻 77 2.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5.発行年 2022年 3.雑誌名 AAMT Journal 6.最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	生涯学習基盤経営研究	1-17
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 影浦峡 4.巻 77 2.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5.発行年 2022年 3.雑誌名 AAMT Journal 6.最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著		
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 影浦峡 4.巻 77 2.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5.発行年 2022年 3.雑誌名 AAMT Journal 6.最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著		
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 影浦峡 4.巻 77 2.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5.発行年 2022年 3.雑誌名 AAMT Journal 6.最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6): 翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	'4U	1月
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		国際共著
1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 77 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
影浦峡772.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質5.発行年 2022年3.雑誌名 AAMT Journal6.最初と最後の頁 28-33掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		
影浦峡772.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質5.発行年 2022年3.雑誌名 AAMT Journal6.最初と最後の頁 28-33掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	1	Λ 券
2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 2022年 3.雑誌名	シ/ 川 吠	11
人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 2022年 3.雑誌名		
人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 2022年 3.雑誌名		
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 28-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題	5.発行年
AAMT Journal 28-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
AAMT Journal 28-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質	2022年
なし 無 オープンアクセス 国際共著	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
なし 無 オープンアクセス 国際共著	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
なし 無 オープンアクセス 国際共著	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
なし 無 オープンアクセス 国際共著	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3.雑誌名 AAMT Journal	2022年 6 . 最初と最後の頁 28-33
オープンアクセス 国際共著	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁 28-33
	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3.雑誌名 AAMT Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無
	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3.雑誌名 AAMT Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無
<u>オーブンアクセスとしている(</u> また、その予定である)	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3.雑誌名 AAMT Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2022年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無
	人間の翻訳と機械の翻訳(6):翻訳中核プロセスの一つの性質 3.雑誌名 AAMT Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2022年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無

1 . 著者名	
	4 . 巻
Kyo Kageura	I
2.論文標題	5.発行年
Automatic Term Processing in the Context of Translation: Theoretical and Practical Issues and	2023年
Prospects	6 840 1 9 %
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Terminology and Cognition	to appear
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
なし	無
<i>'</i> & ∪	
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
**************************************	1 4 22
1 . 著者名	4 . 巻
Miyata Rei	32
2 . 論文標題	5.発行年
Formulating a terminology for source document profiling through a literature review: from	2022年
functionalist to documentational approaches	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Perspectives	1-18
	<u>│</u> 査読の有無
司 10.1080/0907676X.2022.2049830	有
10.1000/030/070/.2022.2043030	Ħ
↑-プンアクセス	国際共著
· · · · · =· ·	国际代名
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4.巻
山田優	75
2 . 論文標題	5.発行年
・ 端ス状態 MT利用ガイドラインの必要性	2021年
	20214
) h#±+ <7	6.最初と最後の頁
3.雜誌台 AAMT Journal	32-33
AAMT Journal	32-33
AAMT Journal 弱載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	32-33 査読の有無
AAMT Journal	32-33
AAMT Journal	32-33 査読の有無 無
AAMT Journal	32-33 査読の有無
AAMT Journal 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	32-33 査読の有無 無 国際共著
AAMT Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	32-33 査読の有無 無 国際共著 -
AAMT Journal 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	32-33 査読の有無 無 国際共著
AAMT Journal 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 影浦峡	32-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 75
AAMT Journal 日載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	32-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 75 5 . 発行年
AAMT Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 影浦峡	32-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 75
S載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	32-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 75 5 . 発行年 2021年
B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	32-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 75 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	32-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 75 5 . 発行年 2021年
S	32-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 75 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
S載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし	32-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 75 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
S載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	32-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 75 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 34-38
AAMT Journal S載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	32-33
引載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	32-33

1.著者名 宮田玲,藤田篤	
宮田玲.藤田篤	4 . 巻
	74
2.論文標題	5 . 発行年
ニューラル機械翻訳を対象とした試行錯誤的プリエディット事例の>探索的分析	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
AAMT Journal	15-22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
影浦峡	74 74
#Z / /TD ₩X	
2.論文標題	5 . 発行年
人間の翻訳と機械の翻訳(4):翻訳論の翻訳とMT研究の翻訳	2021年
2 hA±+-67	
3.雑誌名 AAMT Journal	6.最初と最後の頁
AAMI JOURNAI	6-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンマクセストし <i>て</i> いる(また、その予定である)	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Akiko Sakamoto and Masaru Yamada	9(1)
2.論文標題	5 . 発行年
Social groups in machine translation post-editing: A SCOT analysis	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Translation Spaces	78-97
Transfer opasse	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4.巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita	- 4.巻 19(5)
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita 2 . 論文標題	- 4.巻 19(5) 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita	- 4.巻 19(5)
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita 2 . 論文標題	- 4.巻 19(5) 5.発行年 2020年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita 2 . 論文標題 Iterative training of unsupervised neural and statistical machine translation systems	- 4.巻 19(5) 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita 2 . 論文標題 Iterative training of unsupervised neural and statistical machine translation systems 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 19(5) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita 2 . 論文標題 Iterative training of unsupervised neural and statistical machine translation systems 3 . 雑誌名 ACM Transactions on Asian and Low-Resource Language Information Processing	- 4 . 巻 19(5) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 21
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita 2 . 論文標題 Iterative training of unsupervised neural and statistical machine translation systems 3 . 雑誌名 ACM Transactions on Asian and Low-Resource Language Information Processing	- 4 . 巻 19(5) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 21
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita 2 . 論文標題 Iterative training of unsupervised neural and statistical machine translation systems 3 . 雑誌名 ACM Transactions on Asian and Low-Resource Language Information Processing	- 4 . 巻 19(5) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 21
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Benjamin Marie and Atsushi Fujita 2 . 論文標題 Iterative training of unsupervised neural and statistical machine translation systems 3 . 雑誌名 ACM Transactions on Asian and Low-Resource Language Information Processing	- 4 . 巻 19(5) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 21

1.著者名	A +++
	4 . 巻
Benjamin Marie, Atsushi Fujita	8
2 26-24-44-117	5 36/-/T
2 . 論文標題	5.発行年
Synthesizing parallel data of user-generated texts with zero-shot neural machine translation	2020年
2 1824 (1	C 871 84 6 F
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Transactions of the Association for Computational Linguistics	710-725

掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1162/tacl_a_00341	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
4	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
1 . 著者名	4.巻
Onishi Nanami and Masaru Yamada	22
2 经分価度	F 整仁左
2 . 論文標題	5.発行年
Why translator competence in information searching matters: An empirical investigation into	2020年
differences in searching behavior between professionals and novice translators	C = 171 = 2" = 2"
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Invitation to Interpreting and Translation Studies	1-23

掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
± =\\\\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Raphael Rubino, Benjamin Marie, Raj Dabre, Atsushi Fujita, Masao Utiyama and Eiichiro Sumita	34
2.論文標題	5.発行年
Extremely low-resource neural machine translation for Asian languages	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	347-382
Machine Translation	347-382
w- · ·	347-362
Machine Translation	
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
Machine Translation	
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6	査読の有無有
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著
Machine Translation B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6	査読の有無 有
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 有 国際共著 該当する
Machine Translation 引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 有 国際共著
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 有 国際共著 該当する
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	査読の有無 有 国際共著 該当する
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Long-Huei Chen and Kyo Kageura	査読の有無 有 国際共著 該当する
Machine Translation	査読の有無 有 国際共著 該当する
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Long-Huei Chen and Kyo Kageura	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年
Machine Translation 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Long-Huei Chen and Kyo Kageura 2 . 論文標題 Multilingualization of medical terminology: Semantic and structural embedding approaches	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Long-Huei Chen and Kyo Kageura 2.論文標題 Multilingualization of medical terminology: Semantic and structural embedding approaches 3.雑誌名	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Long-Huei Chen and Kyo Kageura 2.論文標題 Multilingualization of medical terminology: Semantic and structural embedding approaches	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Long-Huei Chen and Kyo Kageura 2.論文標題 Multilingualization of medical terminology: Semantic and structural embedding approaches 3.雑誌名	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Machine Translation	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4157-4166
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Long-Huei Chen and Kyo Kageura 2 . 論文標題 Multilingualization of medical terminology: Semantic and structural embedding approaches 3 . 雑誌名 12th Language Resources and Evaluation Conference	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4157-4166
Machine Translation	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4157-4166
Machine Translation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Long-Huei Chen and Kyo Kageura 2 . 論文標題 Multilingualization of medical terminology: Semantic and structural embedding approaches 3 . 雑誌名 12th Language Resources and Evaluation Conference	査読の有無 国際共著 国際共著 該当する 4.巻 12 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 4157-4166 査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10590-020-09258-6 オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4157-4166

	. 24
1.著者名	4 . 巻
Benjamin Marie, Raphael Rubino and Atsushi Fujita	58
2.論文標題	5.発行年
Tagged back-translation revisited: Why does it really work?	2020年
ragged back transfation revisited. The does it really work:	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics	5990-5997
Trococatings of the confirmation moeting of the Accountation for compatational Engaretree	0000 0001
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.18653/v1/2020.acl-main.532	
10.10053/V1/2020.act-math.532	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Haipeng Sun, Rui Wang, Kehai Chen, Masao Utiyama, Eiichiro Sumita and Tiejun Zhao	58
2 . 論文標題	5.発行年
Knowledge distillation for multilingual unsupervised neural machine translation	2020年
	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics	3525-3535
Trocked rigo of the sour Amindal mooting of the Acceptation for computational Engagetics	0020 0000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.18653/v1/2020.acl-main.324	有
10.10033/ V1/ 2020.ac1-iiia111.324	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
1.著者名 Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro	4.巻 58
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro	58
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題	58 58 58 58 58 58 58 58 58 58 58 58 58 5
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro	58
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation	58. 発行年 2020年
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation	58. 発行年 2020年
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	58 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 358-364 査読の有無
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	58 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 358-364 査読の有無
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2. 論文標題 Content word aware neural machine translation 3. 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34	58 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2.論文標題 Content word aware neural machine translation 3.雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	58 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2.論文標題 Content word aware neural machine translation 3.雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	58 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2.論文標題 Content word aware neural machine translation 3.雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	58 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi	58 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4. 巻 4
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2.論文標題 Content word aware neural machine translation 3.雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi 2.論文標題	58 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4. 巻 4
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi	58 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4. 巻 4
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2.論文標題 Content word aware neural machine translation 3.雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi 2.論文標題 Balancing Cost and Benefit with Tied-Multi Transformers	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 4 5 . 発行年 2020年
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2. 論文標題 Content word aware neural machine translation 3. 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi 2. 論文標題 Balancing Cost and Benefit with Tied-Multi Transformers 3. 雑誌名	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 4 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi 2 . 論文標題 Balancing Cost and Benefit with Tied-Multi Transformers	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 4 5 . 発行年 2020年
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi 2 . 論文標題 Balancing Cost and Benefit with Tied-Multi Transformers 3 . 雑誌名 Proceedings of the 4th Workshop on Neural Generation and Translation	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 4 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 24-34
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi 2 . 論文標題 Balancing Cost and Benefit with Tied-Multi Transformers 3 . 雑誌名 Proceedings of the 4th Workshop on Neural Generation and Translation	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 4 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 24-34 査読の有無
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi 2 . 論文標題 Balancing Cost and Benefit with Tied-Multi Transformers 3 . 雑誌名 Proceedings of the 4th Workshop on Neural Generation and Translation	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 4 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 24-34
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi 2 . 論文標題 Balancing Cost and Benefit with Tied-Multi Transformers 3 . 雑誌名 Proceedings of the 4th Workshop on Neural Generation and Translation	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 4 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 24-34 査読の有無
Kehai Chen, Rui Wang, Masao Utiyama and Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Content word aware neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 58th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.acl-main.34 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Raj Dabre, Raphael Rubino and Fujita Atsushi 2 . 論文標題 Balancing Cost and Benefit with Tied-Multi Transformers 3 . 雑誌名 Proceedings of the 4th Workshop on Neural Generation and Translation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/2020.ngt-1.3	58 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 358-364 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 4 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 24-34 査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
Rei Miyata and Hodai Sugino	XIX
nor mryata and nodal oughts	
0. 40-11707	= 74.4-1-
2 . 論文標題	5.発行年
Building a controlled lexicon for authoring automotive technical documents	2020年
2 145-4-47	6 見知し目後の五
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of XIX EURALEX Congress: Lexicography for Inclusion I,	171 - 180
3	
19 ±144 1 = 201 (= 20 % + 11 = 20 % + 1 ±10 = 7 %	++
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
- 1 4 C	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Masaru Yamada, Mayuka Yamamoto, Nanami Onishi, Atsushi Fujita, Rei Miyata and Kyo Kageura	NA
marana, mayana namanata, manana antan, madani najirta, nai miyana ana nyo nagana	
0 60-1-1707	= 3V./= h=
2 . 論文標題	5.発行年
Metalanguage for the translation process	2020年
2 1844	c = 171 = 17 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Translation in Transition	46-51
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
な し	有
4.0	Fi Fi
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
., , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
4 ## 5	
1.著者名	4 . 巻
	4.巻 NA
1 . 著者名 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa	_
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa	NA NA
	5.発行年
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題	NA NA
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story	5.発行年
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map	NA NA S S S S S S S S S S S S S S S S S
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story	5.発行年
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名	NA NA S S S S S S S S S S S S S S S S S
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map	NA SA
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名	NA SA
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201
Example 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice	NA SA
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無
Example 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Raj Dabre and Atsushi Fujita	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Raj Dabre and Atsushi Fujita 2 . 論文標題	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2.論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3.雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2.論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3.雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2.論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3.雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Raj Dabre and Atsushi Fujita 2.論文標題 Combining sequence distillation and transfer learning for efficient low-resource neural machine 	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2.論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3.雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2. 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3. 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Raj Dabre and Atsushi Fujita 2. 論文標題 Combining sequence distillation and transfer learning for efficient low-resource neural machine translation models doi	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2.論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3.雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Raj Dabre and Atsushi Fujita 2 . 論文標題 Combining sequence distillation and transfer learning for efficient low-resource neural machine translation models doi 3 . 雑誌名 Proceedings of the 5th Conference on Machine Translation	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 415-425
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2.論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3.雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2.論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3. 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Raj Dabre and Atsushi Fujita 2.論文標題 Combining sequence distillation and transfer learning for efficient low-resource neural machine translation models doi 3.雑誌名 Proceedings of the 5th Conference on Machine Translation 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 	S . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 415-425 査読の有無
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Raj Dabre and Atsushi Fujita 2 . 論文標題 Combining sequence distillation and transfer learning for efficient low-resource neural machine translation models doi 3 . 雑誌名 Proceedings of the 5th Conference on Machine Translation	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 415-425
Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Raj Dabre and Atsushi Fujita 2 . 論文標題 Combining sequence distillation and transfer learning for efficient low-resource neural machine translation models doi 3 . 雑誌名 Proceedings of the 5th Conference on Machine Translation 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 415-425 査読の有無 有
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2. 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3. 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	S . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 415-425 査読の有無
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 415-425 査読の有無 有
 Kyo Kageura, Masaru Yamada and Takeshi Abekawa 2 . 論文標題 Developing a translator training platform by clarifying translation process through user story map 3 . 雑誌名 Proceedings of the Translation 4.0: Training, Research and Practice 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	NA 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 187-201 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 415-425 査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
宮田玲	20
2.論文標題	5 . 発行年
日本における自治体ウェブサイトの多言語化の現況と課題	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
通訳翻訳研究	1-24
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kyo Kageura	36
, ,	
2. 論文標題	5.発行年
The status and role of dictionaries in the era of unlimited online lexical information search and free online MT use	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Korealex	7-33
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻 44
宮内拓也,影浦峡	44
2.論文標題	5 . 発行年
言語学的カテゴリーに基づく翻訳 QA スキームの分析	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
生涯学習学基盤経営研究	13-26
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
1 . 著者名	4.巻
Rei Miyata and Atsushi Fujita	16
2 . 論文標題	= 7V./= h=
	5 经行任 1
	5 . 発行年 2021年
Understanding pre-editing for black-box neural machine translation	2021年
Understanding pre-editing for black-box neural machine translation 3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
Understanding pre-editing for black-box neural machine translation 3 .雑誌名 Proceedings of the 16th Conference of the European Chapter of the Association for Computational	2021年
Understanding pre-editing for black-box neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 16th Conference of the European Chapter of the Association for Computational Linguistics	2021年 6 . 最初と最後の頁 -
Understanding pre-editing for black-box neural machine translation 3.雑誌名 Proceedings of the 16th Conference of the European Chapter of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Understanding pre-editing for black-box neural machine translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 16th Conference of the European Chapter of the Association for Computational Linguistics	2021年 6 . 最初と最後の頁 -
Understanding pre-editing for black-box neural machine translation 3.雑誌名 Proceedings of the 16th Conference of the European Chapter of the Association for Computational Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無

影演検 307 2 . 論文機器 翻訳テクノロジー論考 第 10 回 言語のテクノロジーと翻訳 5 . 飛行年 2020年 3 . 雑誌名 JTF Journal 6 . 最初と屋後の頁 22-23 掲載論文の300 (デジタルオブジェクト週別子) なし 国際共著 1 . 著名名 山田優 郵駅テクノロジー論考 第 12 回 翻訳支援のパラドックス 1 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2		
2. 論文極證 翻訳テクノロジー論考 第 10 回 言語のテクノロジーと翻訳 2020年 2020年 2020年 2020年 3. 雑誌名	1.著者名	4.巻
2. 論文極證 翻訳テクノロジー論考 第 10 回 言語のテクノロジーと翻訳 2020年 2020年 2020年 2020年 3. 雑誌名		307
翻訳テクノロジー論考 第 10 回 言語のテクノロジーと翻訳		
翻訳テクノロジー論考 第 10 回 言語のテクノロジーと翻訳	2 给水塘時	c ※/-/年
3 . 婚誌名		
接動論文の001(デジタルオブジェクト識別子)	翻訳テクノロシー論考 弟 10 回 言語のテクノロシーと翻訳	2020年
接動論文の001(デジタルオブジェクト識別子)		
据数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著者名 山田優 1 諸者名 山田優 2 論文種題 野歌テクノロジー論考 第 12 回 翻訳支援のバラドックス 3 . 雑誌名 JT Journal オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山田優 2 . 論文程題	3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
据数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著者名 山田優 1 諸者名 山田優 2 論文種題 野歌テクノロジー論考 第 12 回 翻訳支援のバラドックス 3 . 雑誌名 JT Journal オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山田優 2 . 論文程題	JTE Journal	22-23
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	511 55411A.	22 20
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	相乗給さのDOL (ニッパカル・オッパー カー かいして)	木井の左仰
1 . 著名名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	なし	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オープンアクセス	国際共著
1 、著名名 山田優 4 、巻 310 2 ・論文標題 殿所テクノロジー論考 第 12 回 翻訳支援のパラドックス 5 、発行年 2020年 3 ・雑誌名 JTF Journal 6 ・最初と最後の頁 26・27 掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 面際共著 ・ 1 ・著名名 山田優 4 ・巻 72 2 ・論文標題 ポストエディターの素養と涵養 5 、発行年 2020年 3 ・雑誌名 AAIIT Journal 6 ・最初と最後の頁 3・6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 面際共著 ・ 1 ・著名名 影演験 4 ・巻 72 2 ・論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5 ・発行年 2020年 3 ・雑誌名 AAIIT Journal 6 ・最初と最後の頁 7・11 掲載論名 AAIIT Journal 6 ・最初と最後の頁 7・11 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	オープンアクセスではない Vはオープンアクセスが闲難	
山田優 310 2 . 論文標題 翻訳テクノロジー論考 第 12 回 翻訳支援のパラドックス 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 JTF Journal 6 . 最初と最後の頁 26-27 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 無 1 . 著名名 山田優 4 . 巻 72 2 . 論文標題 ボストエディターの素養と涵養 5 . 発行年 2020年 3 . 辞誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 3 - 6 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 無 1 . 著名名 影消候 7 . 巻 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2) : 文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 幹誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 7 . 11 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	The state of the s	
山田優 310 2 . 論文標題 翻訳テクノロジー論考 第 12 回 翻訳支援のパラドックス 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 JTF Journal 6 . 最初と最後の頁 26-27 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 無 1 . 著名名 山田優 4 . 巻 72 2 . 論文標題 ボストエディターの素養と涵養 5 . 発行年 2020年 3 . 辞誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 3 - 6 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 無 1 . 著名名 影消候 7 . 巻 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2) : 文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 幹誌名 AAMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 7 . 11 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		4 ***
2 - 論文標題		
翻訳テクノロジー論考 第 12 回 翻訳支援のバラドックス 3 . 雑誌名 JTF Journal 6 . 最初と最後の頁 26・27 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 山田優 3 . 雑誌名 AMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 26・27 2020年 1 . 著者名 影測峡 1 . 著者名 影測峡 2 . 論文標題 大ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 2 . 論文標題 大ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 5 . 発行年 2020年 2 . 論文標題 大ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 影測峡 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 3 . 雑誌名 AMIT Journal 四際共著 「2020年 5 . 発行年 2020年 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 7-11 四際共著 「2020年 5 . 発行年 2020年 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 7-11	山田優	310
翻訳テクノロジー論考 第 12 回 翻訳支援のバラドックス 3 . 雑誌名 JTF Journal 6 . 最初と最後の頁 26・27 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 山田優 3 . 雑誌名 AMIT Journal 1 . 著者名 影浦峡 1 . 著者名 影浦峡 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 3 . 雑誌名 AMIT Journal 4 . 巻 72		
翻訳テクノロジー論考 第 12 回 翻訳支援のバラドックス 3 . 雑誌名 JTF Journal 6 . 最初と最後の頁 26・27 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 山田優 3 . 雑誌名 AMIT Journal 6 . 最初と最後の頁 26・27 2020年 1 . 著者名 影測峡 1 . 著者名 影測峡 2 . 論文標題 大ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 2 . 論文標題 大ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 5 . 発行年 2020年 2 . 論文標題 大ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 影測峡 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 3 . 雑誌名 AMIT Journal 四際共著 「2020年 5 . 発行年 2020年 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 7-11 四際共著 「2020年 5 . 発行年 2020年 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 7-11	2 論文標題	5 発行任
3 . 雑誌名		
	鮒がノフノロン=神ち 第 14 凹 翻訳又抜いハフトック人	2020年
		6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著者名 山田優 2. 論文標題 ポストエディターの素養と涵養 3. 雑誌名 AAMIT Journal 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 オーブンアクセス	JTF Journal	
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
### オープンアクセス	担要会さのDOL(ごぶカルナブジーカト並叫フ)	本誌の左便
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 山田優 2 . 論文標題 ポストエディターの素養と涵養 3 . 雑誌名 AAMT Journal		
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1 . 著者名 山田優 4 . 巻 72 2 . 論文標題 ボストエディターの素養と涵養 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 養者名 影浦峡 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2) :文書とはどのようなものか? 4 . 巻 72 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	なし	無
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1 . 著者名 山田優 4 . 巻 72 2 . 論文標題 ポストエディターの素養と涵養 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 養者名 影浦峡 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 4 . 巻 72 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1 . 著者名 山田優 4 . 巻 72 2 . 論文標題 ボストエディターの素養と涵養 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 養者名 影浦峡 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2) : 文書とはどのようなものか? 4 . 巻 72 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 山田優 4 . 巻 72 2 . 論文標題 ポストエディターの素養と涵養 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 72 1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
山田優 72 2 . 論文標題 ポストエディターの素養と涵養 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし エーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 エーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1 . 著者名 影浦峡 - 2 国際共著 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	カープラブアとんではない、人はカープラブアと人が四年	<u> </u>
山田優 72 2 . 論文標題 ポストエディターの素養と涵養 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし		
2 . 論文標題 ポストエディターの素養と涵養 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 72 1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		4. 巻
ポストエディターの素養と涵養 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2) : 文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	山田優	72
ポストエディターの素養と涵養 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
ポストエディターの素養と涵養 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2) : 文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	2 論文種類	5 発行生
3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 3-6 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 影測峡 4 . 巻 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2) : 文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
AAMT Journal 3-6 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 オープンアクセス 国際共著 ・ - 1 . 著者名影消峡 4 . 巻 72 5 . 発行年 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 査読の有無	小人トエティター の糸食と 凶 食	2020年
AAMT Journal 3-6 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 オープンアクセス 国際共著 ・ - 1 . 著者名影消峡 4 . 巻 72 5 . 発行年 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	AAMT Journal	3-6
# まである		
# まである		
# まである	担影や立のDOL(ごごクリナブご-クト禁門フト	大生の左仰
オープンアクセス 国際共著 1.著者名 影浦峡 4.巻 72 2.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5.発行年 2020年 3.雑誌名 AAMT Journal 6.最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 影浦峡4 . 巻 722 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか?5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名 AAMT Journal6 . 最初と最後の頁 7-11掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)査読の有無	なし	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 影浦峡4 . 巻 722 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか?5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名 AAMT Journal6 . 最初と最後の頁 7-11掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)査読の有無		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 影浦峡4 . 巻 722 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか?5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名 AAMT Journal6 . 最初と最後の頁 7-11掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)査読の有無		国際共著
1 . 著者名 影浦峡 4 . 巻 72 2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		_
影浦峡722.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか?5.発行年 2020年3.雑誌名 AAMT Journal6.最初と最後の頁 7-11掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)査読の有無	カランプラと外では多い、人間の ランプラとハガ 四条	
影浦峡722.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか?5.発行年 2020年3.雑誌名 AAMT Journal6.最初と最後の頁 7-11掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)査読の有無		
2.論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか?5.発行年 2020年3.雑誌名 AAMT Journal6.最初と最後の頁 7-11掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)査読の有無		_
2 . 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか? 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 AAMT Journal 6 . 最初と最後の頁 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	影浦峡	72
人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか?2020年3.雑誌名 AAMT Journal6.最初と最後の頁 7-11掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)査読の有無		
人間の翻訳と機械の翻訳(2):文書とはどのようなものか?2020年3.雑誌名 AAMT Journal6.最初と最後の頁 7-11掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)査読の有無	2 論文種類	5
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 AAMT Journal 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
AAMT Journal 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	人间の翻訳と懱恍の翻訳(2):乂書とはとのよつなものか?	2020年
AAMT Journal 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
AAMT Journal 7-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無		
	担群会立のロノニングル・ナイング・ケー・地口フィ	本生のナケー
なし ――――――――――――――――――――――――――――――――――――		
	なし	無
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	オーノファク ヒス こはない、 又はオーノファクセスが困難	-

4.巻 72
72
5 . 発行年
2020年
20204
6.最初と最後の頁
53-58

査読の有無
無
国際共著
-
4 . 巻
27(2)
(_/
r 交流左
5.発行年
2020年
6.最初と最後の頁
975-981
査読の有無
無
////
CD Chy 11 ++
国際共著
-
4 . 巻
_
73
5.発行年
2020年
て 見知に見後の百
6.最初と最後の頁
30-33
査読の有無
無
国際共著
_
4 244
4 . 巻
73
5.発行年
2020年
6.最初と最後の頁
6.最初と最後の頁
6.最初と最後の頁 34-39
34-39
34-39 査読の有無
34-39
34-39 査読の有無 無
34-39 査読の有無

1.著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro, Zhao Tiejun	
Chen Kehai Wang Rui Utiyama Masao Sumita Filchiro 7hao Tidiya	4.巻
onon nonal, wany nul, uliyama wasau, sumila Elichilo, zhau ilejuh	27
2、 含金子 種間	r 邓仁左
2 . 論文標題	5.発行年
Neural machine translation with sentence-level topic context	2019年
3 hh	6 見知し見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
IEEE/ACM Transactions on Audio, Speech, and Language Processing	1970-1984
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1109/TASLP.2019.2937190	有
10.1103/1A3LF.2019.293/190	i i i
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
7 JJJJCACKOV AKA JJJJJCAN BE	12 1 2
1.著者名	4 . 巻
Long-Huei Chen and Kyo Kageura	XVII
Long-nuer Gren and Kyo Kageura	AVII
2.論文標題	5 . 発行年
Translating terminologies: A comparable examination of NMT and PBSMT systems	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks	101-108.
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木芸の左無
	査読の有無
なし	┃ 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 英老々	4 *
1.著者名	4 . 巻
V. a. d.a. III naadan and Manana. Vanada	XVII
Yusuke Hiraoka and Masaru Yamada	
YUSUKE HITAOKA AND MASATU YAMADA	
	F 整仁左
2.論文標題	5.発行年
	5.発行年 2019年
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre- editing rules for	
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks	2019年
 2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre- editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 	2019年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名	2019年
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks	2019年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
 2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre- editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 	2019年 6 . 最初と最後の頁 64-72
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
 2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks	2019年 6 . 最初と最後の頁 64-72
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有
 2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2. 論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre- editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2. 論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2. 論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2.論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2.論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3.雑誌名 Proceedings of the 2019 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing and the	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2. 論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3. 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre- editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2. 論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3. 雑誌名 Proceedings of the 2019 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing and the	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2.論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3.雑誌名 Proceedings of the 2019 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing and the 9th International Joint Conference on Natural Language Processing	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1361-1367
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2. 論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3. 雑誌名 Proceedings of the 2019 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing and the 9th International Joint Conference on Natural Language Processing	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1361-1367
2 . 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3 . 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2 . 論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3 . 雑誌名 Proceedings of the 2019 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing and the 9th International Joint Conference on Natural Language Processing	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1361-1367
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3.雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2.論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3.雑誌名 Proceedings of the 2019 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing and the 9th International Joint Conference on Natural Language Processing	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1361-1367
2. 論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2. 論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3. 雑誌名 Proceedings of the 2019 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing and the 9th International Joint Conference on Natural Language Processing 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18653/v1/D19-1139	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1361-1367 査読の有無 有
2.論文標題 Pre-editing plus neural machine translation for subtitling: Effective pre-editing rules for subtitling of TED talks 3. 雑誌名 Proceedings of Machine Translation Summit XVII Volme 2: Translator, Project and User Tracks 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chen Kehai, Wang Rui, Utiyama Masao, Sumita Eiichiro 2. 論文標題 Recurrent Positional Embedding for Neural Machine Translation 3. 雑誌名 Proceedings of the 2019 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing and the 9th International Joint Conference on Natural Language Processing	2019年 6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 NA 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1361-1367

1.著者名	4 . 巻
Hodai Sugino, Rei Miyata and Satoshi Sato	21
2 . 論文標題	5 . 発行年
Formalising document structure and automatically recognising document elements: A case study on automobile repair manuals	2019#
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 21st International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries	249-262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
4 ##4	A 244
1 . 著者名	4.巻
Kyo Kageura	NA
2.論文標題	5 . 発行年
What does MT research say about translation? An empirical sketch	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 2019 ERITS Conference	12-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
な し	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
I. 有自由 Linyuan Tang and Kyo Kageura	4 · 공 NA
Emydan rang and hyd hagedra	141
2.論文標題	5 . 発行年
Verifying the meaning equivalence in bilingual international treaties	2019年
	•
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Jurix 2019	103-111
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
なし	有
·6 ·	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 菜2勺	4 *
1.著者名	4 . 巻
阪本章子,山田優	304
2.論文標題	5 . 発行年
巻頭特集 AI 時代の産業翻訳- 覆面座談会 現場最前線の本音-	2019年
らがいえ い M10公正本町M1 1名叫正吹み 光物取削M24日 -	2010—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
JTF Journal	8-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
The state of the s	

1.著者名 影浦峡	4 . 巻 71
2. 論文標題 人間の翻訳と機械の翻訳(1): 翻訳者は何を翻訳しているか?	5.発行年 2019年
3.雑誌名 AAMT Journal	6 . 最初と最後の頁 14-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 平岡裕資	4.巻 71
2.論文標題 イベント報告 2019 年度 JTF 関西セミナー『翻訳をアップデートせよ - AI 時代の翻訳 力を理論と実践 で考える - 』 プリエディットの可能性を模索する	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 AAMT Journal	6.最初と最後の頁 25-30
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 宮田玲	4.巻 306
2.論文標題 翻訳テクノロジー論考 第 9 回 - テクノロジーを論じ考えるために -	5.発行年 2020年
3.雑誌名 JTF Journal	6.最初と最後の頁 28-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
〔学会発表〕 計59件(うち招待講演 10件 / うち国際学会 33件) 1.発表者名	
Kyo Kageura	
2.発表標題 La Dinamique terminologique	

Terminologie Perspectives theoriques autour de Theoretical Perspectives on Terminology (招待講演) (国際学会)

3 . 学会等名

4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Daichi Yamaguchi, Rei Miyata, Sayuka Shimada, Satoshi Sato
2.発表標題 Gauging the Gap Between Human and Machine Text Simplification Through Analytical Evaluation of Simplification Strategies and Errors
3 . 学会等名 Findings of EACL(国際学会)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 山口大地,宮田玲,藤田篤,梶原智之,佐藤理史
2 . 発表標題 テキスト平易化事例を説明する最小編集操作列の自動生成
3 . 学会等名 言語処理学会第29回年次大会
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 徐聖源,宮田玲,佐藤理史
2 . 発表標題 ユーザ定義の翻訳ルールにより語彙と構文が制御可能なニューラル機械翻訳
3 . 学会等名 言語処理学会第29回年次大会
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 Hui Piao, Kyo Kageura
2. 発表標題 Reflections on the Concepts and Methodologies of Translation Education Curriculum Design
3.学会等名 The 22nd ITRI Conference (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1. 発表者名 Kyo Kageura, Mayuka Yamamoto, Rei Miyata
2. 発表標題 A Typology of Basic Translation Competences: Towards Diagnosing and Assessing Acts in Core Translation Processes in Terms of Competences
3.学会等名 The 22nd ITRI Conference(国際学会)
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 Takahiro Makino, Rei Miyata, Seo Sungwon, Satoshi Sato
2. 発表標題 Designing and Building a Japanese Controlled Language for the Automotive Domain: Toward the Development of a Writing Assistant Tool
3.学会等名 Proceedings of the XX EURALEX International Congress(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 宮田玲
2.発表標題 プレインランゲージと人口知能の接点:制限言語とメタ言語を手がかりに
3.学会等名 JPELC国際会議2022(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 Kyo Kageura
2. 発表標題 Perspectives in Terminology Processing: Theoretical Underpinnings, Practical Demand and Automatic Technologies

3 . 学会等名

4 . 発表年 2022年

First High-Level Forum on Terminology (招待講演) (国際学会)

1.発表者名 山口大地,島田紗裕華,宮田玲,佐藤理史
2 . 発表標題 テキスト平易化システムの分析的評価のた めの平易化方略体系の構築
3 . 学会等名 言語処理学会第28回年次大会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 本田友乃,山本真佑花,影浦峡
2 . 発表標題 複数の翻訳に見られる差異の分析
3 . 学会等名 言語処理学会第28回年次大会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 島田紗裕華,山口大地,宮田玲,藤田篤,佐藤理史
2 . 発表標題 機械翻訳向けプリエディットのた めの情報明示化方略の体系化
3 . 学会等名 言語処理学会第28回年次大会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 影浦峡
2 . 発表標題 言語実務における専門用語の扱いと NLP における専門用語処理
3 . 学会等名 言語処理学会第28回年次大会
4 . 発表年 2022年

1.発表者名

Hui Piao, Kyo Kageura

2 . 発表標題

Designing a translation practice course with focus on translation revisions: Theoretical underpinning and empirical observations

3.学会等名

The 21st ITRI International Conference: Interpreter and Translator Education in an Ever-Changing World (国際学会)

4.発表年

2022年

1.発表者名

Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada

2 . 発表標題

 $\textit{Visualising and sharing records of actions in translation practice courses: The use of metalanguages in the translator training platform \verb+MNH-TT+ \\$

3. 学会等名

The 21st ITRI International Conference: Interpreter and Translator Education in an Ever-Changing World (国際学会)

4.発表年

2022年

1.発表者名

山田優,早川威士

2 . 発表標題

カスタムMT + フルPE」現状と見通し:医療翻訳分野の事例研究

3.学会等名

AAMT 2021 Online

4.発表年

2021年

1.発表者名

Raphael Rubino, Atsushi Fujita, Benjamin Marie

2.発表標題

NICT Kyoto Submission for the WMT' 21 Quality Estimation Task: Multimetric Multilingual Pretraining for Critical Error Detection

3 . 学会等名

Proceedings of the 6th Conference on Machine Translation (WMT) (国際学会)

4 . 発表年

2021年

1.発表者名
Raphael Rubino, Atsushi Fujita, Benjamin Marie
2.発表標題
Error Identification for Machine Translation with Metric Embedding and Attention
·
2
3. 学会等名 Propositings of the 2nd Workshop on Evaluation and Comparison of NLD Systems (Evaluable) (国際学会)
Proceedings of the 2nd Workshop on Evaluation and Comparison of NLP Systems (Eval4NLP)(国際学会)
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
藤田篤
2. 森丰価明
2 . 発表標題 機械翻訳: 参照すべき情報の分析
1茂7灰 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
3 . 学会等名
日刊工業新聞,NICT先端研究/情通機構
4 . 発表年
2021年
1
1.発表者名
Mayuka Yamamoto, Masaru Yamada, Atsushi Fujita, Rei Miyata, Kyo Kageura
2.発表標題
2.発表標題 Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3.学会等名
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会)
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会)
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada 2 . 発表標題 Translation process model and ethical issues
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada 2 . 発表標題 Translation process model and ethical issues 3 . 学会等名
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada 2 . 発表標題 Translation process model and ethical issues
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada 2 . 発表標題 Translation process model and ethical issues 3 . 学会等名 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies (国際学会)
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada 2 . 発表標題 Translation process model and ethical issues 3 . 学会等名 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies (国際学会) 4 . 発表年
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada 2 . 発表標題 Translation process model and ethical issues 3 . 学会等名 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies (国際学会)
Designing a metalanguage of translation strategies for translation training: Demystifying the art of translation 3 . 学会等名 7th IATIS conference (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Masaru Yamada 2 . 発表標題 Translation process model and ethical issues 3 . 学会等名 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies (国際学会) 4 . 発表年

1.発表者名 Atsushi Fujita
2.発表標題 Attainable text-to-text machine translation vs. translation: Issues beyond linguistic processing
3.学会等名 Proceedings of the 18th Machine Translation Summit (MT Summit)(国際学会)
4.発表年 2021年
1.発表者名 Raj Dabre, Atsushi Fujita
2.発表標題 Investigating softmax tempering for training neural machine translation models
3.学会等名 Proceedings of the 18th Machine Translation Summit (MT Summit)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Benjamin Marie, Atsushi Fujita, Raphael Rubino
2.発表標題 Scientific credibility of machine translation research: A meta-evaluation of 769 papers
3.学会等名 Proceedings of the Joint Conference of the 59th Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics and the 11th International Joint Conference on Natural Language Processing (ACL-IJCNLP)(国際学会)
4.発表年 2021年
1.発表者名 Kyo Kageura
2.発表標題 Issues of automatic terminology processing in the technologising of multilingual communication: Theoretical and practical perspectives
3.学会等名

8th Chinese Terminology Construction and Terminology and Cognition International Conference (招待講演) (国際学会)

4 . 発表年 2021年

1.発表者名 Kyo Kageura
2. 発表標題 The status of terms and concepts in the learned use of language: Invoking the Wusterian spirit in the era of machine learning
3.学会等名 Deutsher Terminologie-Tag Symposium(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 山田優
2.発表標題機械翻訳と翻訳のメタ言語
3.学会等名 南山大学地域研究センター共同研究翻訳と通訳の 過去・現在・未来2021年度第1回研究会
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada
2. 発表標題 Translation classroom meets training platform: Adding classroom layer to the translator training platform MNH-TT
3.学会等名 2021 International Conference on Translation Studies in East Asia: Tradition, Transition, Transcendence(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 藤田篤
2 . 発表標題 翻訳時に必要な情報を参照しない機械翻訳が生じる問題
3.学会等名 日本通訳翻訳学会関>東支部第60回例会
4 . 発表年 2021年

1. 発表者名 Takuya Miyauchi, Rei Miyata, Kyo Kageura
2. 発表標題 onstructing a Metalanguage for Analyzing Source Documents in Translation Practice
3.学会等名 III International Conference EnTRetextos(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Rei Miyata, Atsushi Fujita
2. 発表標題 Understanding pre-editing for black-box neural machine translation
3.学会等名 Proceedings of the 16th Conference of the European Chapter of the Association for Computational Linguistics (EACL) (国際学会) 4.発表年
2021年
1.発表者名 Hui Piao, Kikuko Tanabe, Miwako Kitadai, Masaru Yamada and Kyo Kageura
2. 発表標題 The use of predefined issue categories as meta-language in translation revision
3.学会等名 Fifth International Conference on Research into the Didactics of Translation(国際学会)
4. 発表年 2021年
1.発表者名 Hui Piao, Kikuko Tanabe, Dongyue Wang, Mayuka Yamamoto, Nanami Onishi, Masaru Yamada and Kyo Kageura
2. 発表標題 Application and refinement of the MNH-TT issue categories decision tree
3.学会等名 IATIS Regional Workshop(国際学会)

4 . 発表年 2020年

1.発表者名 Rei Miyata
2.発表標題
A survey of the use of human and machine translation on Japanese municipal websites
3 . 学会等名 IATIS Regional Workshop(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
Kyo Kageura
2 . 発表標題 The status and role of dictionaries in the era of unlimited online lexical information search and free online MT use
3.学会等名 The 36th Conference of the Korean Association for Lexicography: Lexical Information System of the World(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Kyo Kageura
2. 発表標題 The gap between MT research and translation studies: Observations on the difference in how 'translation' is viewed in the two fields
3.学会等名 IATIS Regional Workshop(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 藤田篤
2 . 発表標題 機械翻訳のしくみ,翻訳との違い
3 . 学会等名 韓国日本語学会第 42 回学術大会(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名
Masaru Yamada
2. 花主播版
2. 発表標題 Post-editing and a sustainable future for translators
3.学会等名
Translation in Transition(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
山本真佑花
2.発表標題 メタ言語としての『翻訳方略カテゴリ』:その構築と意義
日本通訳翻訳学会関東支部 第 57 回例会
4 . 発表年 2020年
宮内拓也,宮田玲
2 . 発表標題 起点文書分析のためのメタ言語構築
3.学会等名
日本通訳翻訳学会関東支部第 57 回例会
4 . 発表年 2020年
1. 発表者名
山田優
3271 - 271 0 - 100 0 - 372 0
3.学会等名
AAMT 2020, Online - 機械翻訳最前線 -
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 杉野峰大,宮田玲,小川浩平,佐藤理史
2.発表標題 執筆・翻訳のための制限語彙の構築とその自動化の検討
3.学会等名 言語処理学会第 27 回年次大会発表論文集
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 西野竜太郎,新田順也,山本真佑花,藤田篤,大西菜奈美,山田優
2.発表標題 翻訳の主観評価で用いられる表 現
3.学会等名言語処理学会第27回年次大会発表論文集
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 大西菜奈美,山田優
2 . 発表標題 メタ言語としての ISO17100:翻訳プロセスの詳細化
3 . 学会等名 言語処理学会第 27 回年次大会発表論文集
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 山本真佑花,山田優,藤田篤,宮田玲,影浦峡
2 . 発表標題 メタ言語としての翻訳方略体系の構築と検証
3.学会等名 言語処理学会第 27 回年次大会発表論文集
4 . 発表年 2021年

Kyo Kanaura
Kyo Kageura
2. 発表標題
erminology processing in theory and practice: Revisiting the Wusterian spirit in the era of machine learning
3 . 学会等名
12th International Conference on Terminology and Artificial Intelligence(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名
Akiko Sakamoto and Masaru Yamada
2.発表標題
Promoting ethical and sustainable use of MT in the translation industry: A case in Japan
3.学会等名 Fair MT: Building Ethical and Sustainable MT Workflows, Machine Translation Summit XVII Workshop(国際学会)
4 . 発表年
4 · 光极年 2019年
1.発表者名
Hui Piao, Sangmin Han and Kyo Kageura
2. 発表標題
2. 発表標題 The use of meta-language in translation revision
The use of meta-language in translation revision
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man(国際学会)
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man(国際
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man (国際学会) 4 . 発表年 2019年
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man (国際学会) 4 . 発表年 2019年
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man (国際学会) 4 . 発表年 2019年
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Kyo Kageura
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Kyo Kageura
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Kyo Kageura 2 . 発表標題 The status of documents and related concepts in translation and in library science
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Kyo Kageura
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Kyo Kageura 2 . 発表標題 The status of documents and related concepts in translation and in library science 3 . 学会等名 9th Asia-Pacific Conference on Library and Information Education and Practice (A-LIEP) (国際学会)
The use of meta-language in translation revision 3 . 学会等名 2019 International Conference on Translation Education: Computer-Aided Translator Training (CATT) of Machines and Man (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Kyo Kageura 2 . 発表標題 The status of documents and related concepts in translation and in library science

1.発表者名
山田優
2. 発表標題
2 . 光衣保護 翻訳をアップデートせよ - AI 時代の翻訳力を理論と実践で考える -
2
3 . 学会等名 JTF 関西セミナー
4.発表年
2019年
1.発表者名
Atsushi Fujita, Masaru Yamada and Kyo Kageura
2. 発表標題
Revisiting human translation for the next generation of MT beyond 'language' processing
3 . 学会等名
Game Changer Innovation Contest, Translation Automation User Society (TAUS) Asia Conference & Exhibits(国際学会)
4.発表年
4 . 光表中 2019年
2010—
1.発表者名
影浦峡
2.発表標題
言語表現をどう捉えるか:図書館情報学・辞書学・翻訳論の貢献
3.学会等名
第 67 回日本図書館情 報学会研究大会
4 . 発表年
2019年
1
1.発表者名 影浦峡,内山将夫,山田優,阿辺川武,藤田篤,宮田玲
ᄽᄱᅑᆟᅥᅽᇻᆺᆺᅤᄜᅝᆟᆘᅹᄭᄡᆟᄦᄱᇒᅧᆸᄧᅺ
2
2.発表標題 人間の類記と機械類記ちつなど類記プロセス・モデルの構築
人間の翻訳と機械翻訳をつなぐ翻訳プロセ ス・モデルの構築
3. 学会等名
AAMT 2019, Tokyo
4.発表年
2019年

1.発表者名
□ · 光衣百台 □ 影浦峡
₽Z / TD ΨX
2.発表標題
機械翻訳/多言語処理における専門用語の扱いと専門翻訳
3. 学会等名
日本通訳翻訳学会関東支部第 54 回例会
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
国内的一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个
白13111년, 於州歌
2.発表標題
翻訳における QA 記述の分析: 言語学的カテゴリーを手掛かりに
3.学会等名
言語処理学 会第 26 回年次大会発表論文集
4.発表年
2020年
1. 発表者名
西野竜太郎,山田優
2 . 発表標題
翻訳品質と JTF 翻訳品質評価ガイドライン-生産ベース評価の品質の考え方 -
2
3.学会等名
言語処理学 会第 26 回年次大会発表論文集
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
山田優
2.発表標題
2.光衣標題 翻訳品質と翻訳プロセスの枠組 - 可操作化の記述を目指して -
3. 学会等名
言語処理学 会第 26 回年次大会発表論文集
4 改丰仁
4.発表年 2020年
2020年

1.発表者名 宮田玲,宮内拓也,影浦峡	
2.発表標題 翻訳のための起点文書分析:文献レビューの枠組み	
3 . 学会等名 言語処理学 会第 26 回年次大会発表論文集	
4 . 発表年 2020年	
1.発表者名 藤田篤	
2 . 発表標題 翻訳時に参照すべき情報が欠けることで生じる問題: ニュース記事の英日機械翻訳・ポス トエディットを	- 例題に
3.学会等名 言語処理学 会第 26 回年次大会発表論文集	
4 . 発表年 2020年	
〔図書〕 計22件	
1 . 著者名 Rei Miyata, Masaru Yamada, Kyo Kageura (eds.)	4 . 発行年 2022年
2. 出版社 Routledge	5.総ページ数 ²⁶⁴
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications	
	_
1 . 著者名 Rei Miyata, Masaru Yamada, Kyo Kageura	4 . 発行年 2022年
2. 出版社 Routledge	5.総ページ数 264
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 1: Introduction分担執筆)	

	1
1.著者名	4.発行年
Kyo Kageura, Rei Miyata, Masaru Yamada	2022年
,	'
	l l
	- 20 - 500
2. 出版社	5.総ページ数
Rout Ledge	264
3.書名	
Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	
Applications (Chapter 2: Metalanguages and Translation Studies分担執筆)	
•	
1.著者名	/ ※行午
	4.発行年
Masaru Yamada, Nanami Onishi	2022年
	l l
2. 出版社	5. 総ページ数
Rout ledge	264
Noutreage	
2 #4	
3. 書名	
Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	
Applications (Chapter 3: Overview of Metalanguages and Translation Processes分担執筆)	
1 英名夕	A 25/2/F
1 . 著者名	4.発行年
Hui Piao, Masaru Yamada, Kyo Kageura	2022年
	j
	_
1	
2 出版社	5
2. 出版社	5.総ページ数
2.出版社 Rout ledge	5.総ページ数 ²⁶⁴
Rout ledge	
Rout ledge 3.書名	
Routledge 3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	
Routledge 3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	
Rout ledge 3.書名	
Routledge 3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	
Routledge 3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	
Routledge 3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆)	264
Routledge 3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆)	4 . 発行年
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆)	264
Routledge 3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆)	4 . 発行年
Routledge 3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆)	4 . 発行年
Routledge 3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆)	4 . 発行年
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada	4.発行年 2022年
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada	4.発行年 2022年
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数
8 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 . 著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数
8 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 . 著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada 2 .出版社 Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada 2 .出版社 Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada 2 .出版社 Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数
Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 4: Metalanguages in Translator Education分担執筆) 1 .著者名 Nanami Onishi, Masaru Yamada 2 .出版社 Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	4 . 発行年 2022年 5 . 総ページ数

1.著者名	4 . 発行年
Rei Miyata, Takuya Miyauchi	2022年
2.出版社	5 . 総ページ数
Routledge	²⁶⁴
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 6: Metalanguages for Source Document Analysis: Properties and Elements分担執筆)	
1 . 著者名	4 . 発行年
Mayuka Yamamoto, Masaru Yamada	2022年
2.出版社	5 . 総ページ数
Routledge	²⁶⁴
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 7: Translation Strategies for English-to-Japanese Translation分担執筆)	
1 . 著者名	4 . 発行年
Atsushi Fujita, Kikuko Tanabe, Chiho Toyoshima	2022年
2.出版社	5 . 総ページ数
Routledge	²⁶⁴
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 8: Designing a Metalanguage of Translation Issues分担執筆)	
1.著者名	4 . 発行年
Rei Miyata, Takuya Miyauchi	2022年
2.出版社	5 . 総ページ数
Rout ledge	²⁶⁴
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 9: Metalanguage for Describing the Effects of Revisions分担執筆)	

4 *** +1/47	4 7%/- F
1.著者名	4.発行年
Masaru Yamada, Kyo Kageura, Rei Miyata	2022年
2 . 出版社	5.総ページ数
Rout ledge	264
	·
3 . 書名	
Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	
Applications (Chapter 10: Modelling the Process of Translation using a Metalanguages分担執筆)	
1.著者名	4 . 発行年
Astushi Fujita, Kikuko Tanabe, Kaemi Tanaka, Mayuka Yamamoto	2022年
• •, • • • • • • • • • • • • • • • • •	'
2. 出版社	5.総ページ数
	3 . AEパーク女 264
Routledge	∠∪4
つ 争々	
3 . 書名	
Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	
Applications (Chapter 11: Implementing and Validating a Metalanguage of Translation Issues in	
Translation Education分担執筆)	
	•
	4 . 発行年
1.著者名 Hui Pian Kyo Kaneura	4 . 発行年 2022年
1.著者名 Hui Piao, Kyo Kageura	4 . 発行年 2022年
———————————————————————————————————————	
———————————————————————————————————————	
Hui Piao, Kyo Kageura	2022年
Hui Piao, Kyo Kageura 2. 出版社	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura	2022年
Hui Piao, Kyo Kageura 2. 出版社	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2. 出版社	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 .書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for	2022年 5 . 総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆)	2022年 5.総ページ数 ²⁶⁴
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名	2022年 5.総ページ数 ²⁶⁴ 4.発行年
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆)	2022年 5.総ページ数 ²⁶⁴
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名	2022年 5.総ページ数 ²⁶⁴ 4.発行年
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名	2022年 5.総ページ数 ²⁶⁴ 4.発行年
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada	2022年 5.総ページ数 ²⁶⁴ 4.発行年 ²⁰²² 年
### Piao, Kyo Kageura 2. 出版社 Routledge 3. 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1. 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada 2. 出版社	2022年 5.総ページ数 4.発行年 2022年
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada	2022年 5.総ページ数 ²⁶⁴ 4.発行年 ²⁰²² 年
### Piao, Kyo Kageura 2. 出版社 Routledge 3. 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1. 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada 2. 出版社	2022年 5.総ページ数 4.発行年 2022年
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge	2022年 5.総ページ数 4.発行年 2022年
### Piao, Kyo Kageura 2. 出版社 Routledge 3. 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1. 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada 2. 出版社	2022年 5.総ページ数 4.発行年 2022年
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge	2022年 5.総ページ数 4.発行年 2022年
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	2022年 5.総ページ数 4.発行年 2022年
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 13: MNH-TT: A Translator Training Platform that Incorporates	2022年 5.総ページ数 4.発行年 2022年
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical	2022年 5.総ページ数 264 4.発行年 2022年 5.総ページ数
Hui Piao, Kyo Kageura 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 12: Incorporating the Source Document Property Metalanguage for Translation Education分担執筆) 1 . 著者名 Kyo Kageura, Takeshi Abekawa, Masaru Yamada 2 . 出版社 Routledge 3 . 書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 13: MNH-TT: A Translator Training Platform that Incorporates	2022年 5.総ページ数 264 4.発行年 2022年 5.総ページ数

1 . 著者名 Akiko Sakamoto, Masaru Yamada	4 . 発行年 2022年
2. 出版社 Rout ledge	5.総ページ数 264
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 14: Managing Clients' Expectations for MTPE Services through a Metalanguage of Translation Specifications: MPPQN Method分担執筆)	
1 . 著者名 Atsushi Fujita	4 . 発行年 2022年
2.出版社 Routledge	5.総ページ数 ²⁶⁴
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications (Chapter 16: Natural Language Processing Techniques for Translation分担執筆)	
1.著者名 Rei Miyata, Masaru Yamada, Kyo Kageura (eds.)	4 . 発行年 2022年
2.出版社 Routledge	5.総ページ数 282
3.書名 Metalanguages for Dissecting Translation Processes: Theoretical Development and Practical Applications	
1.著者名 Masaru Yamada	4 . 発行年 2020年
2.出版社 Rout ledge	5.総ページ数 556
3.書名 Routledge Handbook of Translation and Technology (Language learners and non-professional translators as users分担執筆)	

1.著者名	4 . 発行年
Kyo Kageura and Elizabeth Marshman	2020年
2.出版社	5.総ページ数
Routledge	556
3 . 書名	
Routledge Handbook of Translation and Technology (Terminology extraction and management分担執	
筆)	
. ***	4 387-7-
1 . 著者名	4 . 発行年
Rei Miyata	2020年
	5.総ページ数
	236
Routledge	230
3.書名	
Controlled Document Authoring in a Machine Translation Age	
CONTROLLED DOCUMENT AUTHORING III A MACHINE TRANSPATION Age	
	!
1 . 著者名	4.発行年
山田優	2020年
2.出版社	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	210
2 =47	
3 . 書名	
よくわかる英語教育学(「AI と外国語学習」分担執筆)	
	I
1.著者名	4 . 発行年
	2019年
ЩНІВ	2010-
2. 出版社	5 . 総ページ数
イカロス出版	210
3 . 書名	
産業翻訳パーフェクトガイド(「機械翻訳と人間翻訳の違い」分担)	
産業翻訳パーフェクトガイド(「機械翻訳と人間翻訳の違い」分担)	
産業翻訳パーフェクトガイド(「機械翻訳と人間翻訳の違い」分担)	
産業翻訳パーフェクトガイド(「機械翻訳と人間翻訳の違い」分担)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

しての他」
翻訳規範とコンピテンスの可操作化を通した翻訳プロセス・モデルと統合環境の構築
https://tntc.p.u-tokyo.ac.jp/
みんなの翻訳実習MNH-TT
http://mnh-tt.org/
メタ言語とメタ言語スキームの提供
https://github.com/tntc-project/
SD文書自動評価システムQRDP
https://teotihuacan.cs.nii.ac.jp/sd-analyzer/

6 . 研究組織

6			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	備考	
	阿辺川 武	東京大学・大学院教育学研究科(教育学部)・特任准教授	
研究分担者	(Abekawa Takeshi)		
	(00431776)	(12601)	
研究分担者	藤田 篤 (Fujita Atsushi)	国立研究開発法人情報通信研究機構・ユニバーサルコミュニケーション研究所先進的音声翻訳研究開発推進センター・主任研究員	
	(10402801)	(82636)	
	内山 将夫	国立研究開発法人情報通信研究機構・ユニバーサルコミュニ	
研究分担者	(Utiyama Masao)	ケーション研究所先進的音声翻訳研究開発推進センター・室長	
	(70293496)	(82636)	
	宮田 玲	東京大学・大学院教育学研究科(教育学部)・講師	
研究分担者	(Miyata Rei)		
	(70804300)	(12601)	
	山田優	立教大学・異文化コミュニケーション学部・教授	削除:2023年1月19日
研究分担者	(Yamada Masaru)		
	(70645001)	(32686)	
	\ ··· ***·/	<u> ` </u>	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	北京外国語大学	北京大学		